

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
01	株式会社カヌチャベ リゾート 代表取締役社長 白石 武博	 カヌチャリゾート SDGs への取り組み やんばるの自然に囲まれ、やんばるの自然と共にあるカヌチャリゾートだからこそ、その美しい自然を守り、次世代へつなげる使命があると捉え、次の取り組みを実施しています。 3. すべての人に健康と福祉を ・ 診療所の設置 6. 安全な水とトイレを世界中に ・ RO 造水場の完備 ・ 大浴場シャワー節水機器導入 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに ・ 高効率照明器具導入 ・ クラウド型空調コントロールシステム導入 ・ 空調省エネシステム Force 10. 人や国の不平等をなくそう ・ 外国籍スタッフの雇用（韓国、ミャンマー、タイ、ベトナム、インドネシア、ネパール） ・ 障害者スタッフの雇用 12. つくる責任 つかう責任 ・ リサイクル素材を使ったユニフォーム ・ ゴミの分別 14. 海の豊かさを守ろう ・ レストランでの紙製ストロー ・ 木製のフォーク、スプーンの使用 15. 陸の豊かさを守ろう ・ 有機資材を使用した土壌作り ・ チケット類の廃止、紙の再利用 ・ カーボンオフセット（施設内に生育するヤシの木の樹木管理） ・ 食品残渣の堆肥化 ・ やんばる花街道清掃ボランティア活動を年 2 回実施しています。 カヌチャリゾートは、自然と親しみ、自然と共生する「エコリゾート」として、環	      

SDGs の達成に向けた取組

		境に関する取り組みを続けて参ります。	
--	--	--------------------	--

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
02	麒麟ビール株式会社 中四国・九州総括本部 沖縄支社 支社長 高沢 友視	麒麟ビール株式会社沖縄支社においては、以下5点のSDGs活動に取り組んでいます。 【ゴール8. 働きがいも経済成長も】 ・首里城復興応援活動：沖縄県の歴史・文化を象徴する首里城の復興応援をテーマに2019年からCSVドネーションのクローズドキャンペーンを美ら島財団と協働し料飲店で実施したり、生ビールイベントを開催しています。寄付額は20万弱の規模から170万円を超える寄付金になっており地域活性化に貢献しています。 【ゴール14. 海の豊かさを守ろう】 ・慶良間諸島ビーチクリーン活動：2014年から毎年、チームけらまの協力会社となり、世界屈指の世界自然遺産の海の環境保全を支援し、ビーチクリーンに参加するお客様と商工会青年部を中心とした懇親会も開催し活動を支援しています。 ・世界自然遺産の協働：世界自然遺産推進共同企業体に参加し、シンポジウムへの参加やグループ内へボランティア活動の案内を実施しています。 【ゴール3. すべての人に健康と福祉を】 ・麒麟財団：1981年設立され、家族介護者支援事業、障害当事者への支援事業、支援先と共催する青少年の健全育成事業、公募による地域福祉活動支援事業等、ボランティアとして地域社会をささえる人々の活動を支援しています。沖縄は毎年複数の応募をいただき、助成金を贈呈しています。 【ゴール17. パートナーシップで目標を達成しよう】 ・日々の営業活動：ビール・ノンアル・飲料の機能系商品の沖縄における接点拡大などにCSVマインドを持ちながら日々努めています。また、沖縄経済同友会にも参加し後援会内容を社内で共有しビーチクリーン活動などパートナー企業連携を実施しています。	 The image shows four SDG icons arranged in a 2x2 grid. Top-left: Goal 3 (Health and Well-being) with a heart and pulse line. Top-right: Goal 8 (Decent Work and Economic Growth) with a bar chart and upward arrow. Bottom-left: Goal 17 (Partnerships for the Goals) with a network of circles. Bottom-right: Goal 14 (Life Below Water) with a fish and waves.

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
03	一般社団法人しまぬわ 代表理事 津波 駿佑	SDGs4「質の高い教育をみんなに」 しまぬわでは、ビーチクリーン活動をただの清掃にとどめず、環境教育の場として活用しています。県外の小学生向けにオンライン授業や教材を提供したり、島しょ部での現地学習を通じて、海洋ごみや地域文化、自然との共生について学ぶ機会を創出しています。体験を通した学びで、「気づきから行動へ」つなげる教育を広げています。 SDGs11「住み続けられるまちづくりを」 地域と協力しながら行うビーチクリーンや共創プロジェクトを通じて、地域資源の保全と住民の誇りづくりを支えています。特に「沖縄まるごとゴミ拾い」では、全市町村での開催を目標に、世代を超えて地域がつながるきっかけをつくり、地域コミュニティの再生や活性化に貢献しています。 SDGs14「海の豊かさを守ろう」 海洋ごみの回収や情報発信、啓発活動を通じて、海洋環境の保全に直接取り組んでいます。「離島清掃協力隊」では、離島の海岸を清掃し、ごみを島に残さず持ち帰るという新しいビーチクリーンモデルを展開。サンゴや生態系を守る活動にもつながっています。 SDGs17「パートナーシップで目標を達成しよう」 行政、企業、学校、地域団体などと連携し、共創型のプロジェクトを多数展開しています。「沖縄まるごとゴミ拾い」や企業向けビーチクリーンプログラム、「離島清掃協力隊」もすべて、多様な主体との協力によって成り立っており、課題解決を“みんなごと”として実現する仕組みを構築しています。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
04	那覇空港ビルディング株式会社 代表取締役社長 安里 昌利	那覇空港ビルディング株式会社の SDGs の取組み 【環境】 ◆公共交通機関の利用促進 社員の通勤における公共交通機関利用促進のため、「エコ通勤手当」を導入し、公共交通機関を利用し通勤する社員へ支給しています。また、一般駐車場では通常期・多客期毎に柔軟な駐車場料金を設定し、空港利用者の公共交通機関の利用を奨励しています。 ◆省エネの取組み 持続可能なエネルギー使用を推進するため、館内空調の冷却水や館内トイレの洗浄水などに雨水を積極的に活用しています。また、令和 10 年度にかけて空港内の空調設備の更新工事を進め、エネルギー効率の向上を目指しています。館内照明についても、全館 LED 化を実施し、省エネルギーへの取組みを強化しているほか、今後も再生エネルギーの導入に向け検討を進め、空港の脱炭素化に貢献します。 ◆「クリンネス空港世界一プロジェクト」の推進 空港内外の清潔さを保ち、世界一清潔な空港を目指して、清掃及び環境美化活動を推進しています。専門事業者の清掃に留まらず、役員や社員が空港内を巡回しながらクリンネス活動を行うことで、施設の美化維持に努めています。また、館内の蘭、屋外のサンダンカを基調に、様々な草花を栽培・展示し、空港の修景緑化にも取り組んでおります。このプロジェクトを通じて、快適な空港環境の提供に努めています。 【社会】 ◆全ての空港利用者へ利便性・快適性を提供 空港利用者がより快適に空港を利用できるよう、ジェンダーレストイレを設置するなど、全てのの人に配慮した環境整備に努めています。また、空港内のバリアフリー化を進め、高齢者や障がい者等の方々が安全かつ快適にご利用いただけるよう施設設備の改善に努めています。さらに、カームダウン・クールダウンスペースや礼拝室を設置し、多様なニーズに応えています。 ◆災害に強い空港づくり 自然災害に備え、重要設備を保護する浸水対策工事や、天井材の脱落防止、エレベーター・エスカレーター等の耐震対策工事を実施し、空港施設の安全性を確保して	

SDGs の達成に向けた取組

		います。これにより、災害時のリスクを軽減し、利用者の安全を最優先に考えた環境づくりを進めています。 ◆地域貢献活動の展開 地域社会との連携を強化し、地域貢献活動を積極的に展開しています。首里城復興への支援として、空港内に首里城復元の横断幕や「首里城復興応援広場」を設置し、首里城に関連する展示物やイベントによる賑わいを創出し、空港から首里城復興に向けた気運の醸成に努めております。また、グループ会社と連携し、首里城復興募金箱を空港各所へ設置しております。その他、沖縄こどもの未来県民会議等への寄付を通じて、次世代育成活動にも積極的に貢献しています。 【経済】 ◆国際路線ネットワークの拡充 沖縄県及び那覇空港の国際的な発展を目指し、新規航空路線の誘致に取り組んでいます。社内で路線誘致プロジェクトチームを発足し、沖縄県及び OCVB と連携して沖縄の魅力を世界に発信することで、観光業の発展に貢献しています。 ◆沖縄・日本の魅力を発信する商業空間の提供 沖縄と日本の魅力発信のため、国際線エリアに商業エリア「ゆいにちストリート」を設置しております。ここでは日本ブランドと沖縄プレミアムを融合させた店舗を誘致し、空港利用者に沖縄や日本各地域の特色を感じてもらえる商業空間を提供しています。 ◆空港を支える人材の確保 空港内の人材不足を解消するため、那覇空港合同企業説明会を主催し、空港内の事業者が出展する場を提供しています。この取組みにより、地域の雇用機会創出と、沖縄経済活性化への寄与に努めています。	
--	--	--	--

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
05	有限会社 東産業 代表取締役 東恩納 幹	県内の飲食店、スーパー、給食センター、製造工場などの産業廃棄物、一般産業廃棄物の回収を行っております。食品残さは提携しているリサイクル工場へ搬入後、飼料の原料になり家畜農家へエコフィードとして餌となり循環型社会となっており、廃食用油は工場にて水分、カスを除去し飼料の原料や SAF 燃料の原料へリサイクルし農家へ飼料コスト軽減や CO2 削減と環境政策を取り組んでおります。 グリストラップは提携しているリサイクル工場にて堆肥化など全てリサイクルし製品は農家へ作物の栄養となり循環型社会を実現しております。 食品工場、飲食店商業施設、ホテル、給食センターなどから排出される廃棄物を SDGs の達成に向けて全てリサイクルし、循環型社会を目指し社会の持続発展や地域社会に貢献できる事を目指します。 【3 すべての人に健康と福祉を】 ・健康診断（再検査が必要な時は再受診の推薦） ・予防接種の推薦 ・ラジオ体操の実地 【4 質の高い教育をみんなに】 ・社内において資格取得や研修会などをサポート。 【7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに】 ・運転中アイドリングオフを実地。 ・社内に使用するコピー用紙は裏紙を利用している。 【11 住み続けられるまちづくりを】 ・学校等の部活動の応援や年に1度、大会派遣等の寄付。 【14 海の豊かさを守ろう】 ・年に数回所属する協会や組合や商工会、地元地域などが主催するビーチクリーンの活動の参加。 【15 陸の豊かさを守ろう】 ・年に数回所属する協会や組合や商工会、地元地域などが主催する草刈りやゴミ拾い活動の参加。 ・年に数回、関係機関と連携して不法投棄パトロールなど参加。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
06	与那嶺商会 代表 与那嶺 幸信	SDGs の達成に向けた取り組み 与那嶺商会は、土木施工業・鉄工業を通して地域の発展・愛情ひと手間を加えて・持続可能な地域社会に向けた取り組み(SDGs)は以下の通りです。 1. 貧困をなくそう、4. 質の高い教育をみんなに ・募金活動（地域の学校の部活派遣募金・赤い羽根共同募金）への取り組みを行っています。 ・人材育成のために社内外での研修会の実施・資格取得に取り組んでいます。 ・地域の学校行事にもPTA 活動も積極的に参加しています。 3. すべての人に健康と福祉を ・現場での熱中症対策として水分摂取・塩分チャージなどの用意をしています。 ・従業員の健康管理のために年に1回健康診断を実施しています。 8. 働きがいも経済成長も ・ライフステージの変化も能力に見合った賃金も支給します。 11. 住み続けられるまちづくりを ・地域との連携により部落内の行事活動に取り組んでいます。 ・現場周辺の清掃活動を行っています。 12. つくる責任つかう責任 ・現場で発生する産業廃棄物を可能な限り分別に取り組んでいます。 ・廃棄物の処理は法令に則り適切に処分することで環境への影響を最小限に留めます。 16. 平和と公正をすべての人に ・暴力団追放します。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
07	株式会社 Waqua 代表取締役社長 柳瀬 善史	【3. すべての人に健康と福祉を】 『循環式手洗いユニット』 MYZ Oasys®による衛生的な手洗い環境の提供を通じて、感染症予防や公衆衛生の向上に寄与しています。特に災害時やインフラ未整備地域での利用を想定した製品により、健康的な生活環境の確保を支援します。また、衛生環境の改善は地域医療や介護現場にも応用可能であり、福祉分野全体の質の向上に貢献しています。 【5. ジェンダー平等を実現しよう】 Waqua は、誰もが働きやすい社会の実現に向けて、現場の衛生環境改善を通じた支援を行っています。 近年、国土交通省が推進する「建設産業における女性の定着促進」の影響もあり、建設現場においても女性の進出が進んでいますが、インフラが整っていない現場では、特に女性にとって衛生面での課題が依然として存在します。 当社の『循環式手洗いユニット』 MYZ Oasys®は、水道工事を必要とせず簡易に設置できるため、現場における手洗い環境を迅速に整備することが可能です。 さらに『小型海水淡水化装置』は、近隣の海水や河川水から真水を生成できるため、水の運搬が不要となり、現場の負担軽減にもつながります。こうした製品を通じて、女性技術者の働きやすい環境整備の一環としてもお役立ていただけます。 【6. 安全な水とトイレを世界中に】 Waqua の製品は、限られた水資源を有効に活用し、誰もが安心して使える水環境を届けることを使命に、製品・サービスを展開しています。特に、『小型海水淡水化装置』と『循環式手洗いユニット』 MYZ Oasys®は、高い浄水能力を備えており、ウイルスや細菌、微細な不純物などを効果的に除去することができます。これにより、水インフラが未整備な地域においても、安全な水を確保し、生活や産業活動の持続性を支える手段として貢献しています。 【12. つくる責任 つかう責任】 Waqua は、製品の設計・開発段階から環境負荷の低減を意識し、持続可能な社会の実現に貢献するものづくりを推進しています。たとえば、個人向け製品であるシリカ水生成ボトル『シリカピュア』は、専用カートリッジをセットして使用するタンブラー型浄水器であり、1 個のカートリッジで最大 100ℓ のシリカ水を生成可能です。	 The image shows five SDG icons: Goal 3 (Health and Well-being), Goal 5 (Gender Equality), Goal 6 (Clean Water and Sanitation), Goal 12 (Responsible Consumption and Production), and Goal 17 (Partnerships for the Goals).

SDGs の達成に向けた取組

		これにより、500ml の使い捨てプラスチックボトル約 200 本分に相当する廃棄物の削減につながり、環境保全に貢献します。 当社は、水関連機器の技術開発や製品化を通じて、建設・災害対策・公共衛生など幅広い分野での市場を創出し、地域経済の活性化と雇用の創出にも貢献しています。また、他業種や大手企業との協業によって新たなビジネスモデルを展開し、サステナブルな経済活動の一翼を担ってまいります。	
--	--	--	--